

注) この RCT は日本東洋医学会 EBM 委員会がその質を保証したものではありません

14. 泌尿器、生殖器の疾患 (更年期障害を含む)

文献

織部和宏, 西田欣広. 子宮脱の術後不快感に対する八味地黄丸の効用. *月刊漢方療法* 2006; 10: 282-8.

1. 目的

子宮脱手術に伴う術後不快感への八味地黄丸投与による改善と QOL 向上への評価

2. 研究デザイン

ランダム化比較試験 (RCT)

3. セッティング

独立行政法人国立病院機構大分医療センター産婦人科 1 施設

4. 参加者

2005 年 12 月-2006 年 3 月に上記施設で、子宮脱に対する補中益気湯の投与が無効であり膣式子宮脱根治術を施行した 19 名

5. 介入

Arm 1: ツムラ八味地黄丸エキス顆粒 (2.5g)、1 日に 3 回、食前内服。12 名

Arm 2: 薬物無投与。7 名

6. 主なアウトカム評価項目

八味地黄丸開始時、1, 2 週間後の 1 日の尿回数と平均残尿量

7. 主な結果

両群間で尿回数に有意差はないが、残尿量は投与群では有意に低下した (投与 1 週間: 21 ± 2.3 ml vs. 13 ± 4.2 ml, $P < 0.05$ 、投与 2 週間: 12 ± 1.7 ml vs. 8.3 ± 1.5 ml, $P < 0.05$)。また、八味地黄丸投与 2 週間で、腹証で小腹不仁が存在した例は、存在しない例よりもさらに残尿量が減少した (8.3 ± 1.5 ml vs. 5.3 ± 2.5 ml, $P < 0.05$)。

8. 結論

子宮脱に対する術後の八味地黄丸の投与は、術後早期の組織修復を助け、患者の QOL を高める可能性があり、特に小腹不仁の存在する症例では効果が強い。

9. 漢方的考察

子宮脱は、古来より補中益気湯の有効性が唱えられているが、近年の栄養状態からは「証」の合致しない例が多く、現代医療では再考の余地がある。子宮脱手術後の残尿量の減少効果が強い八味地黄丸は、膀胱およびその周囲組織の回復に威力を発揮していると考えられる。

10. 論文中の安全性評価

八味地黄丸の服用による副作用発現はなかった。

11. Abstractor のコメント

本研究は、高齢社会ならでの漢方医療のあり方や活かし方を問うものである。子宮脱の治療は、手術、子宮脱矯正ペッサリー、薬物があるが、いずれも完治率は高くないために臨床家を悩ます疾患である。本研究では、漢方医学的に小腹不仁の腹証を認めた症例は術後の八味地黄丸の残尿量減少への効果が高いことが明らかにされた。このような臨床的アプローチが子宮脱再発の予防効果があるのか、腎虚の不明確な「証」における子宮脱の治療法にいかん漢方を応用していくか等、今後本研究のような東西融合を目指す治療法についてさらなる挑戦をしていただきたい。

12. Abstractor and date

後山尚久 2008.12.12, 2013.12.31